



平松 正人
誠友会
(45分)

**地域包括支援センターの
取り組みは**

問 老老介護などへの対応に向けてセンターの取り組みは。

答 本市は高齢社会から超高齢社会に移行し、高齢者のみの世帯の増加等、その社会状況は大きく変化し、在宅医療・介護連携や認知症施策の推進など、センターの



能宗 正洋
誠友会
(50分)

インバウンド誘致対策は

問 海外から観光客を招き入れるインバウンド誘致の考えは。

答 県内への訪日外国人観光客は年々増加しており、欧米系外国人の割合が高い。今後、県の観光戦略と連携してアメリカとフランスにターゲットを絞り、世界最大の旅行情報サイト「トリップアド

果たすべき役割は一層高まってきている。高齢者を支える若い世代がセンターの存在と役割を知ることが重要で、普及啓発に取り組む。

**木造住宅への耐震シェルターや
耐震ヘッドの設置費補助とは**

問 設置費補助の導入経緯は。

答 耐震シェルター等は住宅内に鉄骨等で強固な空間を造り、住宅が倒壊した場合でも一定の空間を確保するもので、比較的安価で短期間に設置できる地震対策の一つとして耐震化の補助に追加した。

バイザー」を積極的に活用し、本市の自然や景観の魅力を際立たせる写真を中心に紹介する。

未来づくり100人委員会は

問 未来図の完成の時期は。

答 福山の未来づくりに思いを寄せる市民応援団の意見なども参考に、未来図が磨き上げられていくものと考えており、平成30年2月の未来図完成に向けて、誰もが分かりやすい未来図となるよう、点字、音訳など、さまざまな媒体についても検討していく。



徳山 威雄
誠友会
(70分)

**福山駅から天守閣が
望めるようにすること
「福山城駅」へ改名すること**

問 福山駅新幹線下りホームから福山城天守閣が望めるように、上りホームの屋根を高くするか、屋根を透明にすることと福山駅を「福山城駅」に改名することをJR西日本と協議して



河村 晃子
日本共産党
(72分)

**障害者就労継続支援A型事業所
を解雇された人の支援を万全に**

問 A型事業所を運営する一般社団法人「しあわせの庭」が経営破綻し、利用者112人と職員32人が突然解雇された。同法人の社会的責任とともに、行政の指導・監督責任が厳しく問われる。県やハローワーク、計

はどうか。

答 福山城は、天守閣が全国で一番駅に近い城として「城のあるまち 福のまち」を印象付ける本市のランドマークである。

提案の駅ホームの屋根を高くする改修、福山城駅への改名等は福山城築城400年記念事業や福山駅前再生にも通じるアイデアの一つである。行政、議会、経済界が一体となり、オール福山でその必要性や重要性をJR西日本に求めていくことが実現への近道と考えている。

画相談員や民生委員などの関係機関と連携し、生活再建と再就職の支援を最後の1人まで、きめ細やかに対応すること。

答 現在、市内在住の利用者全員とコンタクトが取れており、専門の相談窓口を設けて生活相談や貸付金の相談などをワンストップで対応できる支援体制としている。再就職支援についても相談や支援を行うなど利用者保護に全力で取り組む。また、経営改善報告書が提出されている事業所に対して適切な指導監督に努める。